

# I 保育所等実態調査



# 1 調査概要

## (1) 調査の目的

平成29年度に予定される国の処遇改善の実施を踏まえ、体系化した研修によるキャリアアップのモデルを作成し、処遇改善に結びつけることにより、保育士の職業としての魅力を高め、保育人材の処遇向上・定着を図るとともに新たに保育士となる人材の参入促進を強化することを目的とした「保育士処遇改善推進事業」の一環として、保育所等の実態調査を実施した。

## (2) 調査の方法

上記の目的を達成するために、施設、施設長、保育士を対象として調査を実施した。調査方法は、県内の全ての認可保育所及び認定こども園592施設に対して施設用1通、施設長用1通、保育士用8通の調査票を送付し回収した。なお、保育士の調査は施設ごとに、正規・非正規別に経験年数5年以下の者、6年以上10年以下の者、11年以上20年以下の者、21年以上の者各1名計8名を対象とし、回答者に主任保育士が含まれるように依頼した（該当者無しの場合は回答を不要とした）。

## (3) 調査項目（テーマ）

各調査票における設問テーマは以下の通り。

### ①施設用

施設の基礎情報、職員配置等について、勤務時間等について、休暇制度について、処遇について、処遇向上の取組、保育士確保の取組、財務状況について、情報通信技術の活用状況、公的補助金の活用状況

### ②施設長用

基本的資料、処遇について、施設運営と職員の経験年数、モチベーション（やりがいを感じる時）、部下との関わり、保育士の魅力

### ③保育士用

基礎資料、賃金、処遇：労働時間、休暇、勤務意向、人事考課、業務状況、満足度、研修、モチベーション（やりがいを感じる時）、必要な役職、保育士の魅力

#### (4) 回収結果

543施設から調査票を回収した。施設用及び施設長用の調査票の提出が無い場合もあるため、回答した施設数と施設用及び施設長用の調査票回収数は一致しない。

	発送数	回収数	回収率
施設への郵送数	592	543	91.7%
施設用	592	526	88.9%
施設長用	592	537	90.7%
保育士用	4,736	3,807	80.4%

#### (5) 調査結果の見方

調査結果の数値は回答率(%)、施設数、人数、金額で表示。回答母数は単数回答の場合有効回答数、複数回答の場合は調査票回収総数(施設のみ有効回答総数)。

回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない。

回答には単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも又は3つから5つまで等)の2種類がある。複数回答の場合に回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。

図表の中には調査票の設問や選択肢を簡略化して表現している場合がある。

## 2 調査結果の概要

### (1) 施設用の調査票

- ・キャリアアップの仕組みがある施設の割合は31.4%であり、そのうち、保育士の賃金改善と結びつけているのは41.0%となっている。(P23、24)
- ・保育士確保について、常時困っていると回答した施設の割合は40.7%となっている。(P28)
- ・平成28年12月1日を基準として、過去1年間に退職した保育士のうち、経験年数5年未満で退職する保育士の割合は62.2%となっている。(P28)

### (2) 施設長用の調査票

- ・初めて施設長となった時の保育士としての経験年数は、20年以上が59.0%となっている。(P40)
- ・保育士の人事考課を行う施設長の割合は54.4%であり、そのうち部下の昇給・昇格と結びつけている割合は、36.7%となっている。(P44、45)
- ・人事考課で重視する項目として、「責任感」、「協調性」、「コミュニケーション能力」、「職務遂行能力」、「保護者に対する支援」、「保育・教育に関する計画の作成」、「乳児への対応」、「発達が気になる子どもへの対応」、を多くの施設長が選択している。(P46、47)

### (3) 保育士用の調査票

- ・保育士資格を取得した理由は、保育士に憧れていたからを選択した割合が、62.4%となっている。(P62)
- ・賃金については、72.7%が低いと回答している。(P69)
- ・有給休暇については、取得できているが25.0%、おおむね取得できているが36.6%となっている。(P73)
- ・職場の人間関係については、とても満足が11.5%、満足が35.0%、やや満足が24.5%となっている。(P81)
- ・キャリアアップ制度については、とても満足が1.5%、満足が8.1%、やや満足が9.5%、どちらともいえないが68.0%となっている。(P81)

#### (4) 施設長用及び保育士用の調査票共通

- ・保育士がモチベーションを上げるために必要なこと（上位3件）は、施設長と保育士で同じである。（P50、89）

内容	施設長	保育士
職場の人間関係	79.1%	63.6%
希望に合った給与	58.8%	61.7%
休暇がとりやすい	30.4%	34.4%

※ 回答者数に対する割合

- ・平均年収は次のとおりとなっている（保育士は、正規かつ常勤）。（P124）

階層	公立	私立	差
一般保育士（正規かつ常勤）			
経験年数3年未満	269万円	249万円	20万円
経験年数3年以上7年未満	317万円	277万円	40万円
経験年数7年以上	423万円	338万円	85万円
主任保育士	535万円	424万円	111万円
施設長	679万円	627万円	52万円

※金額は、1万円未満を四捨五入している。

その他詳細な調査結果については、次ページ以降に記載している。